

SHIMANO STEPS

SHIMANO Total Electric Power System

ドロップハンドルバイク対応 ユーザーマニュアル

本書はSHIMANO STEPSドロップハンドルバイク対応ユーザーマニュアルです。
ドロップハンドルタイプの各部構成・デュアルコントロールレバーの操作方法などについて説明しています。

バッテリーの取扱い方法、アシストモード・サイクルコンピューターなどの各種設定の詳細につきましては、お使いのシリーズのユーザーマニュアルを参照してください。

各シリーズのユーザーマニュアルは以下にてご覧いただけます。

<http://si.shimano.com>

目次

重要なお知らせ	2
安全のために必ずお守りください	2
安全のために	2
ユーザーマニュアルについて	5
ドロップハンドルバーバイク対応ユーザーマニュアル (本書)	5
SHIMANO STEPS各シリーズのユーザーマニュアル	5
アシストモードについて	5
クイックガイド	6
各部の名称	9
操作方法	10
基本操作	10

重要なお知らせ

- ユーザーマニュアルに記載されていない自転車への取付け、調整などにつきましては購入された販売店または代理店へご相談ください。なお、自転車安全整備士、自転車技士など専門知識を有する方向けのディーラーマニュアルはウェブサイト(<http://si.shimano.com>)で公開しています。
- 製品の分解、改造は行わないでください。
- 地域のルールや法律に従って製品をご使用ください。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴはBluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、株式会社シマノはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

安全のため、必ずこの「ユーザーマニュアル」をよくお読みの上、正しくご使用ください。

安全のために必ずお守りください

- ユーザーマニュアルはいつでも確認できる状態にしておいてください。
- 液もれ、発熱、発火、破裂などによるやけどやけがを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

安全のために

危険

バッテリーの取扱いについて

- バッテリーに直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしない。
液漏れ、発熱、破裂、発火の原因になります。
- バッテリーをストーブなどの熱源のそばに放置しない。
破裂、発火の原因になります。
- バッテリーを火の中に投入したり、加熱しない。
破裂、発火の原因になります。
- バッテリーに強い衝撃を与えたり、投げたりしない。
発熱、破裂、発火の原因になります。
- バッテリーを水や海水などにつけたり、端子部を濡らさない。
発熱、破裂、発火の原因となります。

- 指定のバッテリーを充電する際は、当社指定の充電器を使用し、指定の充電条件を守る。
発熱、破裂、発火の原因となります。

警告

安全に乗車するために

- 走行中はサイクルコンピューターの表示に目をうばれない。
転倒事故等のおそれがあります。
- 乗車前に車輪が固定されていることを確認する。
転倒して重傷を負うおそれがあります。
- 電動アシスト自転車の発進特性に十分慣れてから車通りや人通りの多い道路で乗車する。
急発進して事故を起こすおそれがあります。
- 夜間走行時にはライトの点灯確認を行う。

安全に使用するために

- 自転車への配線作業、組み付け作業は、必ずバッテリーおよび充電ケーブルを外した状態で行う。
感電するおそれがあります。
- 自転車にバッテリーを取付けた状態で充電する場合は、自転車を移動させない。
充電器の電源プラグがコンセントに根元まで差し込まれていない状態になるおそれがあり、火災の原因になります。
- 長時間連続して使用している場合、ドライブユニットに触らない。
ドライブユニットの表面が高温になっており、やけどのおそれがあります。
- チェーンを適切なチェーンクリーナーで定期的に洗浄する。
メンテナンスの頻度は、ライディングの状況により異なります。
- 錆び落とし等のアルカリ性、あるいは酸性の洗浄液は絶対に使用しない。
これらを使用するとチェーンが破損し、重傷を負うおそれがあります。
- 製品を取付けるときは、必ず取扱説明書等に示している指示を守る。
その際には、シマノ純正部品の使用をお奨めします。
ボルトまたはナット等が緩んだり、製品が破損すると、突然に転倒して重傷を負うおそれがあります。

バッテリーの取扱いについて

- バッテリーが漏液して液が目に入った時は、こすらずに水道水などのきれいな水で充分洗った後、直ちに医師の治療を受ける。
放置すると液により、目に障害を及ぼす原因になります。
- 充電は湿気の多い場所や、屋外では行わない。
感電のおそれがあります。
- プラグの抜き差しは水に濡れた状態で行わない。
感電のおそれがあります。もしプラグ内が濡れた場合には乾燥させた後に挿してください。
- 所定充電時間を2時間超えてもバッテリーの充電が完了しない場合は、ただちにコンセントを抜いて、販売店へ相談する。
発熱、破裂、発火の原因となります。
バッテリーの所定充電時間については、充電器のユーザーマニュアルを参照してください。
- 外装に目立ったキズや破損のあるバッテリーは使用しない。
破裂・発熱・故障の原因となります。
- バッテリーの動作温度範囲外での使用はしない。
範囲外での使用・保管は、発火・障害・故障の原因となります。
1. 放電時：-10°C ~ 50°C
2. 充電時：0°C ~ 40°C

注意

安全に乗車するために

- 自転車の取扱説明書に従って、安全に走行する。

安全に使用するために

- システムの改造は絶対に行わない。
システムに異常をきたすおそれがあります。
- 充電器およびアダプターが損傷していないか、特にコード、プラグおよび筐体を定期的に確認する。
充電器およびアダプターが損傷している場合、修理するまでは絶対に使用しないでください。
- 製品は、安全責任を持つ人による監督や、製品の使用指導のもとで使用する。
子供を含めて身体的、感覚的、精神的能力が減少している人、または経験や知識のない人には使用させないでください。
- 製品のそばで子供を遊ばせない。

バッテリーの取扱いについて

- バッテリーを直射日光の当たる場所、炎天下駐車

内など、高い温度になる場所に放置しない。

バッテリーを漏液させる原因になるおそれがあります。

- バッテリーの液が皮膚、衣類に付着した場合、ただちにきれいな水で洗い流す。
皮膚に傷害を起こす原因となります。
- バッテリーはペットや乳幼児の手の届かないところに保管する。

使用上の注意

安全に使用するために

- 故障あるいは異常が発生した場合には最寄りの販売店にご相談ください。
- 使用していないコネクターには必ずキャップを取付けてください。
- 製品の取付け、調整は販売店にご相談ください。
- 製品は雨天走行に耐える防水設計になっていますが、水中にはつけないでください。
- 高圧洗車は行わないでください。水分の浸入により故障、あるいはサビの原因となります。
- 自転車を倒立させないでください。サイクルコンピューターまたはシフトスイッチが破損するおそれがあります。
- 製品は丁寧に扱い強い衝撃を与えないでください。
- バッテリーを外した状態でも自転車として機能しますが、電気アシストシステムにライトが接続されている場合は点灯しません。この場合、ドイツにおける道路交通法を満たしませんのでご注意ください。
- 自転車にバッテリーを取付けたまま直接充電する場合は、以下のことに気をつけてください。
 - 充電の際、充電ポートおよび充電器のプラグに水分が付着していないか確認してください。
 - 充電前にバッテリーホルダーにロックがかかっていることを確認してください。
 - 充電中はバッテリーホルダーからバッテリーを取り出さないでください。
 - 充電器を取付けたまま走行しないでください。
 - 充電時以外は、充電ポートのキャップを閉めてください。
 - 充電中に自転車が転倒しないように固定してください。

バッテリーの取扱いについて

- 車でアシスト自転車を搬送する際は、車両からバッテリーを取外し、安定した場所に置いてください。
- バッテリーを取付ける際は、バッテリーと接続する部分(コネクター部)に水や汚れが溜まっていないことを確認の上、接続してください。
- シマノ純正バッテリーの使用をお奨めします。他メーカーのバッテリーを取付ける場合は、必ずバッテリーの取扱説明書をよく読んでから使用してください。

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークはEU域内のみ有効です。使用済みのバッテリー廃棄については、お住まいの地域のルールに従ってください。ご不明の場合は購入された販売店または代理店にご相談ください。

PCとの接続通信

PCと自転車(システムまたはコンポーネント)をPC接続機器を用いて接続し、E-TUBE PROJECTを用いて、コンポーネント単品およびシステムのファームウェアアップデート、カスタマイズなどを行うことができます。

- PC接続機器：SM-PCE1/SM-PCE02
- E-TUBE PROJECT：PCアプリケーション
- ファームウェア：各コンポーネント内のソフトウェア

スマートフォンおよびタブレット端末との接続通信

スマートフォン、またはタブレット端末と自転車(システムまたはコンポーネント)をBluetooth® LEで接続し、スマートフォン・タブレット端末向けE-TUBE PROJECTを用いて、コンポーネント単品およびシステムのファームウェアアップデート、カスタマイズなどを行うことができます。

- E-TUBE PROJECT：スマートフォン・タブレット端末用アプリケーション
- ファームウェア：各コンポーネント内のソフトウェア

お手入れについて

- バッテリーホルダーのキーに記載されているナンバーは、スペアキーを再購入する際に必要です。大切に保管してください。本ユーザーマニュアルの裏表紙に、キーナンバーを記入するスペースを設けてあります。必要などに参照できるよう、キーナンバーを記入しておいてください。

- 製品のソフトウェアのアップデートは販売店にご相談ください。最新情報はシマノのホームページに公開されます。詳しくは「機器との接続通信」の項を参照してください。
- 製品の清掃にシンナー等を使用しないでください。表面を破損する恐れがあります。
- ギアは定期的には中性洗剤で洗浄してください。またチェーンを中性洗剤で洗浄し注油することも、ギア及びチェーンの寿命を延ばす効果があります。
- バッテリー、樹脂カバーのお手入れの際は、水で濡らした布をかたく絞って拭いてください。
- 取扱い方法およびメンテナンスについて疑問のある方は、購入された販売店にご相談ください。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗及び品質の経年劣化は保証いたしません。

アシストについて

- チェーンの張りすぎなど、正しいセッティングが行われていない場合、適正なアシスト力を得られない場合がありますので、販売店にご相談ください。

ラベルについて

- このユーザーマニュアルに記載されている重要な情報の一部は機器ラベルにも記載されています。

ユーザーマニュアルについて

ドロップハンドルバイク対応SHIMANO STEPSをお使いいただくための説明はお使いの**「SHIMANO STEPS各シリーズのユーザーマニュアル」**と**「ドロップハンドルバイク対応ユーザーマニュアル(本書)」**に分けて記載しています。

本書とお使いのシリーズのユーザーマニュアルを併せてお読みください。

各シリーズのユーザーマニュアルは以下のウェブサイト、または製品に付属の「製品に関する重要な情報」に記載のQRコードからご覧いただけます。

<http://si.shimano.com>

* 「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

■ ドロップハンドルバイク対応ユーザーマニュアル(本書)

ドロップハンドルバイク対応SHIMANO STEPSの各部構成・デュアルコントロールレバーの各スイッチの操作方法などについて説明しています。

■ SHIMANO STEPS各シリーズのユーザーマニュアル

本書に記載されていない下記の項目について説明しています。

- バッテリーの取扱い方法
- アシストモード・サイクルコンピューターの各種設定
- トラブルシューティング

アシストモードについて

それぞれの用途に合わせてアシストモードをお選び頂けます。

[HIGH]/[BOOST]	[NORM](ノーマル)/[TRAIL]	[ECO]
急な上り坂	緩やかな上り坂や平地	平地での長距離ライディング
バッテリー残量が少なくなってきた時には、アシスト力を落として走行可能距離を伸ばすようになっています。		
[OFF]		
<ul style="list-style-type: none">・ アシストを必要としない場合・ バッテリー残量が不安な場合		
[WALK]		
E-BIKEを押して歩く場合		
<ul style="list-style-type: none">・ 使用される地域によっては、ウォークアシストモードが使用できない場合があります。		

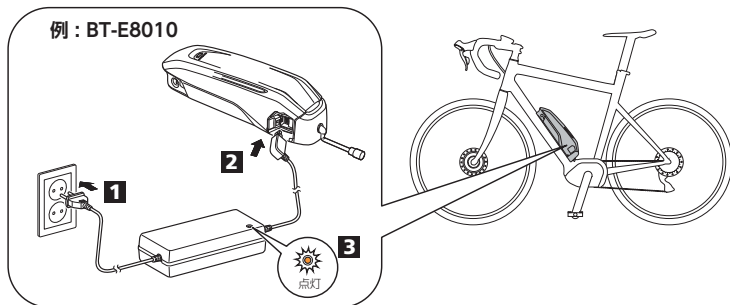
クイックガイド

1. バッテリーを充電します。

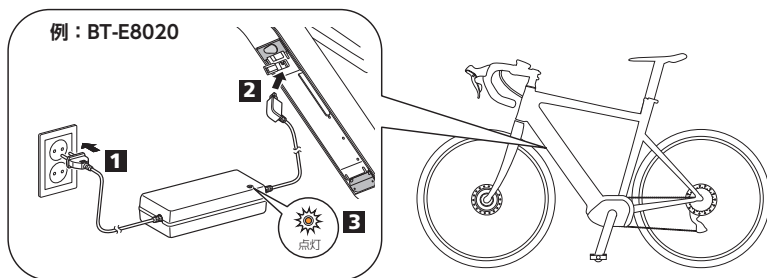
バッテリーを自転車に搭載したまま充電することができます。



詳細は、お使いのシリーズのユーザーマニュアルを参照してください。

外装タイプ



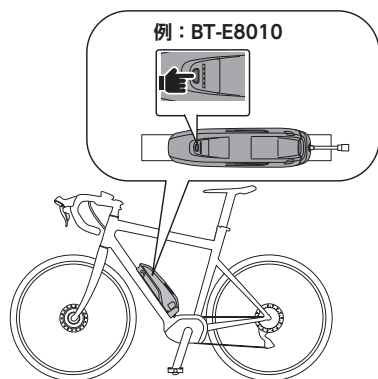
内蔵タイプ



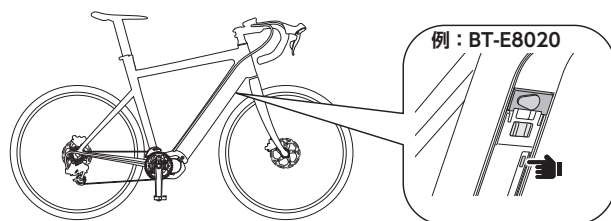
 点灯	充電中
 点滅	充電エラー

2. 電源を入れます。
電源を切る場合は、同じ操作をします。

外装タイプ



内蔵タイプ



使用上の注意

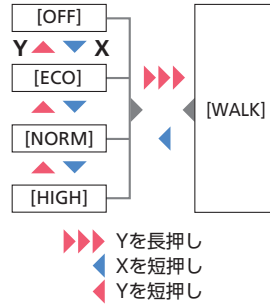
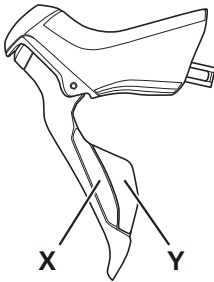
電源をON/OFFにする際は、ペダルに足をかけないでください。

3. アシストモードを選択します。

* 電源投入時は、アシストモードが[OFF]になります。

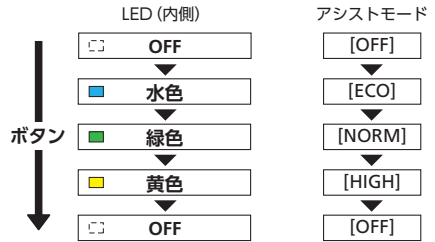
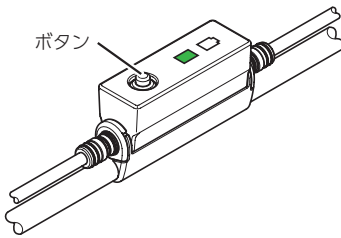
* 図はE6100シリーズをお使いの場合の例です。

デュアルコントロールレバー(左)



* 使用される地域によっては、ウォークアシストモードの機能が使用できない場合があります。

EW-EN100



4. 乗車します。

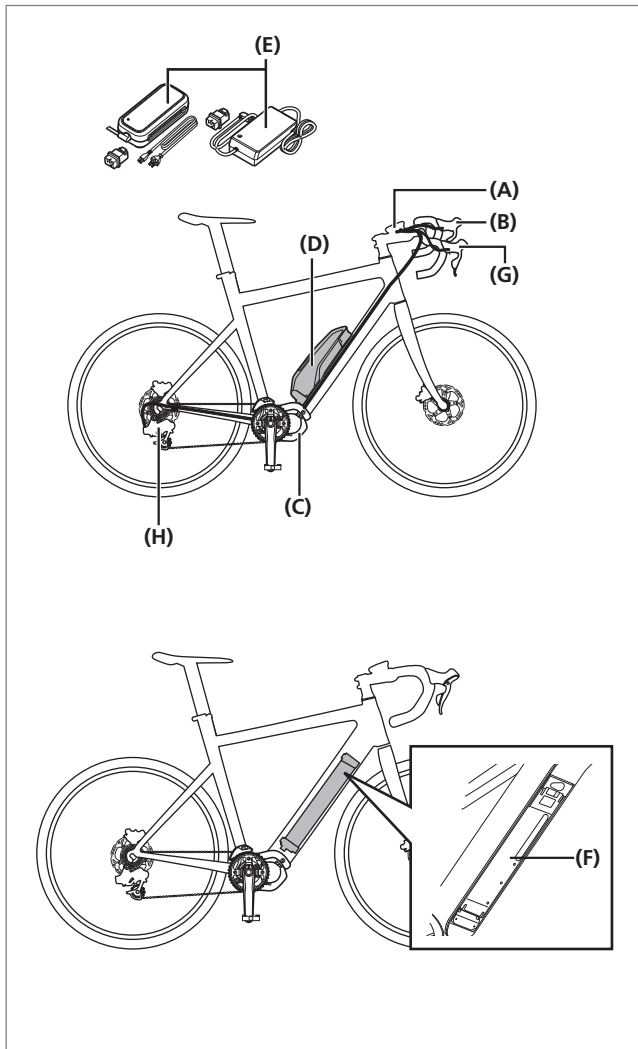
ペダルをこぐとアシストを開始します。

⚠ 注意

乗車前に、自転車のブレーキシステムと操作方法を確認する。

5. 電源を切ります。

各部の名称



- (A) サイクルコンピューター/
ジャンクション (A) :
SC-E6100
SC-E7000
EW-EN100
- (B) デュアルコントロールレバー
(アシストスイッチ) :
ST-R8070-L
ST-RX815-L
- (C) ドライブユニット
- (D) 外装タイプバッテリー/
バッテリーホルダー
- (E) 充電器
- (F) 内蔵タイプバッテリー/
バッテリーホルダー
※ドライブユニット・バッテ
リーについてはお使いのシ
リーズのユーザーマニユア
ルを参照してください。

電動変速を使用する場合

- (G) デュアルコントロールレバー
(DI2) :
ST-R8070-R
ST-RX815-R
- (H) リアディレイラー (DI2) :
RD-R8050
RD-RX815
RD-RX817

操作方法

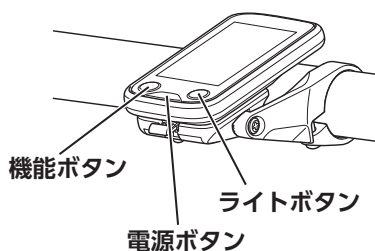
■ 基本操作

サイクルコンピューターやデュアルコントロールレバーの操作について説明します。

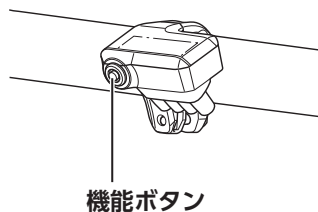
- 乗車時のスイッチの機能割り当てを、ここで説明している内容から変更することができます。詳細は、購入された販売店あるいは代理店にご相談ください。

サイクルコンピューターおよびデュアルコントロールレバー

SC-E6100



SC-E7000

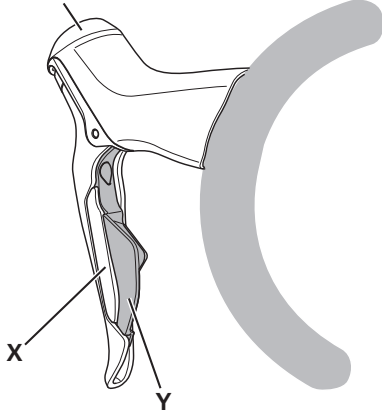


サイクルコンピューター (SC-E6100)			
機能ボタン	乗車時：サイクルコンピューターの走行情報表示の切替え	ライトボタン	ライトのON/OFF
	設定時：サイクルコンピューターの画面切替えや変更した設定の確定	電源ボタン	主電源のON/OFF

サイクルコンピューター (SC-E7000)	
機能ボタン	乗車時：サイクルコンピューターの走行情報の表示を切り替えます。 設定時：サイクルコンピューターの画面を切り替えたり、変更した設定を確定させます。

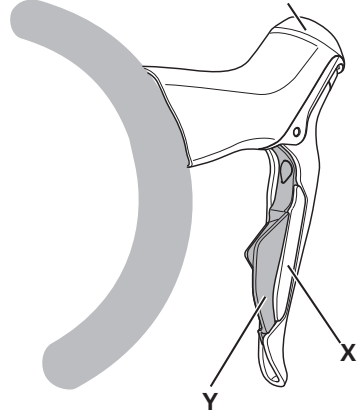
ST-R8070-L
ST-RX815-L

リモートスイッチ



ST-R8070-R
ST-RX815-R

リモートスイッチ



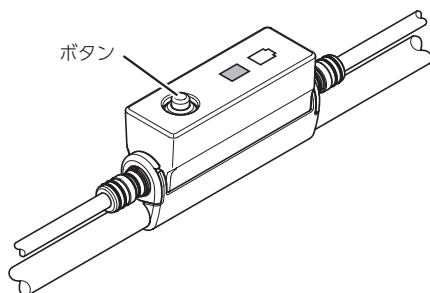
デュアルコントロールレバー (左) (初期設定：アシスト)		デュアルコントロールレバー (右) (初期設定：変速)	
X	乗車時：アシスト力を強くします。 設定時：カーソルの移動や設定の変更に使用します。	X	乗車時：小さいギアから大きいギアへ変速します。
Y	乗車時：アシスト力を弱くします。 設定時：カーソルの移動や設定の変更に使用します。	Y	乗車時：大きいギアから小さいギアへ変速します。
リモートスイッチ	乗車時：サイクルコンピューターの走行情報の表示を切り替えます。		

使用上の注意

変速操作は、必ずクランクを回しながらおこなってください。

ジャンクション (A) (EW-EN100)

サイクルコンピューターの代わりにEW-EN100を使用できます。
ハンドルバーのブレーキアウターケーシングまたはブレーキホース付近に取り付けられています。



ジャンクション (A)

ボタン

短押し: 押すたびにアシストモードを変更します。
長押し (約2秒): ライトをON/OFFします。
長押し (8秒以上): RDプロテクションリセットを行いません。

- ウォークアシストモードに変更する場合は、スイッチユニットが必要です。
- 自転車乗車中にボタンを操作しないでください。乗車前にアシストモードを選択してください。
- RDプロテクションリセット機能はリアディレイラーが電動変速ユニットの場合のみ使用可能です。

各サイクルコンピューター・ジャンクションAの操作・設定項目、エラーメッセージ・トラブルシューティングなどについては、お使いのシリーズのユーザーマニュアルを参照してください。



製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口

☎ 0570-031961 Fax. 072-243-7847

株式会社 **シマノ**

〒590-8577 堺市堺区老松町3丁目77番地